

令和8年2月27日
(2026年)

保護者の皆さま

吹田市立第三中学校
校長 和田 幸洋
教育課程委員会

学校教育アンケートの結果について

平素は本校の教育活動にご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。令和7年度も、各学年行事に加え、体育大会や総合学習発表会などの学校行事を実施することができました。開催に際しましては、保護者の皆さまから多大なご支援をいただき、心より感謝申し上げます。

さて、12月に実施しました学校教育アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果を以下のとおりご報告いたします。今後、この結果を踏まえ、本校教育の一層の充実に努めてまいります。なお、取組の推進にあたっては、教員の働き方改革の趣旨を踏まえ、持続可能な学校運営の工夫改善を進めてまいります。保護者の皆さまにも引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【保護者アンケートから】

1. 学校の取り組みについて

24項目全体として高い評価をいただきました。肯定的回答率80%以上の項目が19項目、60%以上80%未満の項目が5項目となり、学校の教育活動が概ね肯定的に捉えられていることがわかります。すべての項目でより高い評価が得られるよう、引き続き改善に努めてまいります。

2. 魅力ある教育活動について

「子どもは、体育大会、校外学習などの行事に、積極的に参加している」は95.0%、「子どもが学校へ行くのを楽しみにしている」は77.2%、「学校の雰囲気が良く、子どもたちはいきいきしている」は83.1%と、行事や学校生活に関する評価が高い結果でした。今後も、これらの活動を深化させながら継続していきます。成長の歩みを引き続き温かく見守っていただければ幸いです。

3. 学校の説明責任について

「学習の状況や学校の様子を懇談や学年通信などで知ることができる」は94.1%、「学校は、子どものことについて相談に応じてくれる」は91.0%と、高い評価をいただきました。

また、「学校は教育方針をわかりやすく伝えている」「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」についても、いずれも8割を超える肯定的な回答でした。

これらの結果を踏まえ、今後とも保護者の皆さまに分かりやすく、適時適切な情報提供に努めてまいります。なお、本校ホームページ上の「学校ブログ」では、授業や講演会などの活動の様子を、随時更新しております。ぜひご覧ください。

4. 学校の危機管理について

子どもの安全確保については、「台風や火災・地震時などの対応について、生徒や保護者に行動マニュアルが知らされている」への肯定的回答は92.1%と高く、子どもの命を守り安心・安全を確保する体制が評価されています。今後も、年3回の避難訓練や犯罪防止教室等の継続実施を通して、子どもたちの危機回避能力の育成に努めていきます。

5. 改善が必要な事項

「子どもは学校の授業がわかりやすいと言っている」は 63.4%で、生徒アンケートの「授業はわかりやすい」(92.8%)との差が見られます。折に触れて授業内容の説明や学習状況の共有を一層丁寧に行い、「わかる授業」「学ぶ楽しさが実感できる授業づくり」を重点的に進めてまいります。

【生徒アンケートから】

1. 学校生活について

学校生活については、「学校へ行くのが楽しい」が 87.7%、「生徒会活動が活発である」が、87.7%、「部活動に参加するのが楽しい」が 93.4%、「学校行事は、みんなが楽しく行えるように工夫してある」は 94.4%の肯定的な回答がありました。生徒たちは、概ね学校生活に満足している様子が伺えます。さらに、生徒達の実態を正しく把握し、教育活動に反映させていきたいと考えています。

2. 授業について

授業については、「授業はわかりやすい」が 92.8%、「グループ活動を多く取り入れている」が 91.8%、「ICT 機器（コンピューター等）を使う授業は分かりやすい」が 88.2%、「意見を発表する機会が多い」が 84.0%、「総合的な学習の時間は、教科以外のいろんなことを学べる」が 94.4%、「家で学校の宿題をしている」が 76.5%で、6 項目平均はおおよそ 87.8%でした。あわせて、「ICT 機器を使った授業が多くあった」は 94.9%（前年比+20.7 ポイント）と、ICT 活用が大きく進展しています。

課題としては、「家で授業の復習をしている」が 37.2%と低く、家庭学習の習慣化を促す取り組みを強化する必要があります。

3. 教職員について

先生については、「先生は、私たちの意見を聞いてくれる」が 95.4%、「いじめや校内暴力など、私たちが困っていることについて対応してくれる」が 92.3%、「授業でわからないことは、先生に質問しやすい」が 82.7%、「先生は、学習で努力したことを認めてくれる」が 89.3%と、高い評価が示されました。一部の生徒は授業や学習内容について質問しづらいことや、個人的な悩みを教員に相談しにくいことがあるようです。引き続き、すべての教職員がカウンセリングマインドを身につけ、学級担任を中心に連携し、生徒一人ひとりの様子に気を配り、きめ細かな指導に努めてまいります。

4. 評価について

評価については、「通知表の学習成績の評価は理解できる」が 92.9%の肯定的な回答でした。今後も適切な評価を心がけてまいります。

【生徒・保護者アンケートから】

生徒アンケートから「将来の進路や生き方について考えたことがある」が 80.1%、保護者アンケートから「自分の将来の生き方をよく考え、豊かな心を持った子どもを育てようとしている」は 85.1%の肯定的な回答でした。これからも、ご家庭と連携しながら、お子さまが中学校の 3 年間で基盤に自らの将来に希望を抱き、自分らしく未来を築けるよう、進路指導や教育活動を通して支援してまいります。

